

1. わたしたちの生活と政治

★実施時期：4月～6月上旬

★指導時間数：19時間

【学習指導要領】

(1) 我が国の政治の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解すること。

(イ) 国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解すること。

(ウ) 見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 日本国憲法の基本的な考え方に着目して、我が国の民主政治を捉え、日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現すること。

(イ) 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現すること。

【単元の目標】

・日本国憲法の基本的な考え方に着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめ、我が国の民主政治を捉え、日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現することを通して、日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解すること。

・政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめ、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現することを通して、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解すること。

・日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わり、国民生活における政治の働きについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うとともに、国民としての政治への関わり方について多角的に考えようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
わたしたちのくらしと日本国憲法	<p>・日本国憲法には、国民の基本的人権は侵すことのできない永久の権利として保障されていること、主権は国民にあることや我が国が国際紛争を解決する手段としての戦争を永久に放棄することなどが定められていること、天皇は日本国の象徴であり日本国民統合の象徴として位置付けられていること、生命、自由及び幸福の追求に対する国民の権利は侵すことのできない永久の権利として国民に保障されたものであり、それを保持するためには国民の不断の努力を必要とするものであること、参政権は国民主権の表れであり、民主政治にとって極めて重要であること、また、国民は権利を行使する一方で、勤労や納税の義務などを果たす必要があることなどの権利や義務が定められていることなどを基に、日本国憲法の特徴について理解している。</p> <p>・現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本理念である国民主権の考え方と深く関わっていること、そのことは私たちの日常生活とも関連があることなどを基に、日本国憲法と国民生活との関連について理解している。</p> <p>・日本国憲法について、各種資料から情報を読み取ったり、調べたことを図表などに適切に整理してまとめたりすることができる。</p>	<p>・(日本国憲法の基本的な考え方に着目して、)日本国憲法の基本的な考え方と国民生活を関連付けて、日本国憲法の特徴や役割を考え、文章で記述したり図表などにまとめたことを基に説明したりしている。</p>	<p>・問題解決の見通しをもって追究し、日本国憲法が国民生活に果たす役割について、自分の考えをまとめようとしている。</p>

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>国の政治のしくみと選挙</p>	<p>・現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本理念である国民主権の考え方と深く関わっていること、そのことは私たちの日常生活とも関連があることなどを基に、日本国憲法と国民生活との関連について理解している。</p> <p>・我が国の政治には国会に立法、内閣に行政、裁判所に司法という三権があること、それらは相互に関連し合っってそれぞれの役割を果たしていることなどを基に、我が国の政治の仕組みについて理解している。</p> <p>・我が国の政治の働きについて、国や県、市などが作成した広報誌などの各種資料から情報を読み取ったり、調べたことを図表などに適切に整理してまとめたりすることができる。</p>	<p>・(日本国憲法の基本的な考え方に着目して、)国会、内閣、裁判所の働きと国民を関連付けて、国民としての政治への関わり方を考え、図表などにまとめたことを基に説明したり、根拠や理由を明確にして議論したりしている。</p> <p>・(国会、内閣、裁判所と国民との関わりについて調べて得た情報などに基づいて、)選挙は国民の代表者を選出する大切な仕組みであること、行政に必要な予算を国民が納める税金が支えていること、国民が裁判に参加する仕組みとして裁判員制度があることなどを踏まえて、様々な立場から多角的に考え、義務や責任などと関連付けて考えている。</p>	<p>・問題解決の見通しをもって追究し、国会、内閣、裁判所と国民との関わりについて、自分の考えをまとめようとしている。</p> <p>・多面的な思考や理解を通して、国民としての政治への関わり方について、自分の考えをまとめようとしている</p>
<p>子育て支援の願いを実現する政治</p>	<p>・国や地方公共団体の政治は国民生活と密接な関係をもっていること、それらの政治は国民主権の考え方を基本として、国民の願いを実現し国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることなどを基に、国や地方公共団体の政治の働きについて理解している。</p> <p>・我が国の政治の働きについて、公共施設などの見学や、そこで働く人への聞き取り調査をして適切に情報を集めたり、国や県、市などが作成した広報誌などの各種資料から情報を読み取ったり、調べたことを図表などに適切に整理してまとめたりすることができる。</p>	<p>・(政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、)国や地方公共団体の政治の取組と国民生活を関連付けて、政治の働きを考え、レポートなどにまとめたり、図表などにまとめたことを基に説明したりしている。</p>	<p>・問題解決の見通しをもって追究し、国民生活における政治の働きについて、自分の考えをまとめようとしている。</p>

2. 日本の歴史① 縄文のむらから古墳のくにへ

★実施時期:6月下旬

★指導時間数:7時間

【学習指導要領】

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
 (ア) 狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解すること。その際、神話・伝承を手掛かりに、国の形成に関する考え方などに関心をもつこと。
 (イ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。
 (エ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 (ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

【単元の目標】

・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一の様子を捉え、歴史の展開を考え、表現することを通して、むらからくにへと変化したことを理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。また、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。
 ・むらからくにへの変化に関心をもち、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
縄文のむらから古墳のくにへ	<ul style="list-style-type: none"> ・狩猟・採集や農耕の生活について、貝塚や集落跡などの遺跡、土器などの遺物や、水田跡の遺跡や農具などの当時の遺物が残されていること、日本列島では長い期間、豊かな自然の中で狩猟や採集の生活が営まれていたこと、大陸から稲作が伝えられ農耕が始まると、人々は耕地の近くに定住してむらを作るようになったことなどが分かる。 ・古墳について、古墳の規模やその出土品、古墳の広がりなどが分かる。 ・大和朝廷(大和政権)による統一の様子について、各地に支配者が現れ、有力豪族を中心とした大和朝廷によって大和地方を中心とした地域の統一が進められたことなどが分かる。 ・これらのことを手掛かりに、世の中の様子がむらからくにへと変化したことを理解している。 ・貝塚や集落跡などの遺跡、土器などの遺物について、地域にある博物館や資料館、身近な地域に残されている古墳などを見学して適切に情報を集めたり、当時の様子や人物の働きなどを資料から読み取ったり、調べたことを年表などに適切に整理してまとめたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(人々はどのような生活をしていたか、世の中の様子はどのように変わったか、どのように力を伸ばし国を治めたかなどの問いを設けて、)狩猟・採集の生活や農耕が始まった頃の生活の様子、古墳の出現と広がり、大和朝廷(大和政権)の支配の広がりについて調べ、これらの事象を比較したり関連付けたりして、世の中の様子の変化を考え、文章で記述したり説明したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の見通しをもって追究し、狩猟・採集の生活や農耕が始まった頃の生活の様子、古墳の出現と広がり、大和朝廷(大和政権)の支配の広がりについて調べ、世の中の様子の変化について、自分の考えをまとめようとしている。

2. 日本の歴史② 天皇中心の国づくり

★実施時期:7月

★指導時間数:6時間

【学習指導要領】

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
 (イ) 大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を手掛かりに、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解すること。
 (シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。
 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 (ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

【単元目標】

・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子を捉え、歴史の展開を考え、表現することを通して、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。また、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。
 ・天皇を中心とした政治が確立したことに関心をもち、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
天皇中心の国づくり	<ul style="list-style-type: none"> 大陸文化の摂取について、聖徳太子が法隆寺を建立し、小野妹子らを遣隋使として隋(中国)に派遣することにより、政治の仕組みなど大陸文化を積極的に摂取しようとしたことなどが分かる。 大化の改新について、中大兄皇子や中臣鎌足によって政治の改革が行われたことや、天皇中心の新しい国づくりを目指したことなどが分かる。 大仏造営について、聖武天皇の発案の下、行基らの協力がより国家的な大事業として東大寺の大仏が造られ、天皇を中心とする政治が都だけでなく広く全国に及んだことや、聖武天皇の願いにより鑑真が来日し、仏教の発展に大きな働きをしたことなどが分かる。 これらのことを手掛かりに、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解している。 地図などの資料で、遣隋使の航路や正倉院の宝物が渡来した経路、大化の改新や大仏造営の様子など、歴史上の出来事的位置や広がりなどを読み取ったり、調べたことを白地図や年表などに適切に整理してまとめたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> (聖徳太子はどのような国づくりを進めたか、国づくりには聖武天皇のどのような願いが込められていたかなど)の問いを設けて、大陸文化を取り入れた政治の様子、大化の改新を経て進められた天皇中心の政治の様子、大仏造営に込められた聖武天皇の願いや造営の様子について調べ、これらの事象を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、文章で記述したり説明したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の見通しをもって追究し、大陸文化を取り入れた政治の様子、大化の改新を経て進められた天皇中心の政治の様子、大仏造営に込められた聖武天皇の願いや造営の様子について調べ、自分の考えをまとめようとしている。

2. 日本の歴史③ 貴族のくらし

★実施時期:9月上旬

★指導時間数:3時間

【学習指導要領】

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
 (ウ) 貴族の生活や文化を手掛かりに、日本風の文化が生まれたことを理解すること。
 (シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。
 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 (ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

【単元の目標】

・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、貴族の生活や文化を捉え、歴史の展開を考え、表現することを通して、日本風の文化が生まれたことを理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。また、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。
 ・この時代に日本風の文化が生まれたことに関心をもち、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
貴族のくらし	<ul style="list-style-type: none"> ・貴族の生活や文化について、貴族の屋敷の様子や藤原道長に代表される貴族の生活の様子、紫式部や清少納言が我が国独自のかな文字を使って優れた文学作品をつくり出したこと、貴族の生活の様子を描いた大和絵などがつくられたことなどが分かる。 ・これらのことを手掛かりに、京都に都が置かれた頃、日本風の文化が生まれたことを理解している。 ・絵画などの資料で、貴族の暮らしの様子や、紫式部や清少納言の活躍など、生活や文化に関する情報を適切に読み取ったり、調べたことをまとめたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(貴族はどのような生活をしてきたか、どのような作品を残したかなどの問いを設けて、)この頃の貴族の服装や建物、日常の生活や行事などの様子や紫式部や清少納言の作品について調べ、これらの事象を関連付けたり総合したりして、この頃の文化の特色を考え、文章で記述したり説明したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の見通しをもって追究し、貴族の服装や建物、日常の生活や行事などの様子や紫式部や清少納言の作品について調べ、この頃の文化の特色について、自分の考えをまとめようとしている。

2. 日本の歴史④ 武士の世の中へ

★実施時期:9月中旬

★指導時間数:6時間

【学習指導要領】

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
 (エ) 源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、武士による政治が始まったことを理解すること。
 (シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。
 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 (ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

【単元の目標】

・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを捉え、歴史の展開を考え、表現することを通して、武士による政治が始まったことを理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。また、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。
 ・武士による政治が始まったことに興味をもち、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
武士の世の中へ	<ul style="list-style-type: none"> 源平の戦いについて、力を付けてきた源氏と平氏が戦い、源義経の働きもあって源氏が勝利し、大きな力をもつようになったことなどが分かる。 鎌倉幕府の始まりについて、朝廷から認められ全国に守護や地頭を置いた源頼朝が鎌倉に幕府を開き、武士による政治の仕組みをつくり上げたことなどが分かる。 元との戦いについて、北条時宗が九州の御家人を中心に全国の武士を動員し、元の攻撃を退けたこと、幕府が全国的に力をもってきたことなどが分かる。 これらのことを手掛かりに、鎌倉に幕府が置かれた頃、武士による政治が始まったことを理解している。 日本地図や世界地図などの資料で、源平の戦いが行われた場所や鎌倉幕府が開かれた場所、守護や地頭の配置、元との戦いの様子など、歴史上の出来事の位置や広がりなどを読み取ったり、調べたことを白地図や年表などに適切に整理してまとめたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> (源氏と平氏はどのような戦いをしたか、源頼朝はどのような政治の仕組みを作ったかなどの問いを設けて、)武士が台頭してきたことや源平の戦いの様子、鎌倉幕府の政治の仕組み、元との戦いについて調べ、これらの事象を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、文章で記述したり説明したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の見通しをもって追究し、武士が台頭してきたことや源平の戦いの様子、鎌倉幕府の政治の仕組み、元との戦いについて調べ、この頃の世の中の様子について、自分の考えをまとめようとしている。

2. 日本の歴史⑤ 今に伝わる室町文化

★実施時期:9月下旬

★指導時間数:3時間

【学習指導要領】

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
 (オ) 京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解すること。
 (シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。
 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 (ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

【単元の目標】

・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を捉え、歴史の展開を考え、表現することを通して、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。また、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。
 ・今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことに関心をもち、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
今に伝わる室町文化	<ul style="list-style-type: none"> ・京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物について、足利義満は金閣を、足利義政は銀閣を、それぞれ建てたこと、それらは現在も保存されていること、銀閣の東求堂の書院造といわれる部屋のつくりには、ふすまや畳、違い棚などが作られていたこと、それらは現在の和風建築に生かされていることなどが分かる。 ・京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な絵画について、雪舟により我が国の水墨画を代表する作品が生み出されたこと、それらの中には国宝に指定され現在も保存されているものがあること、水墨画は現在も人々に親しまれていることなどが分かる。 ・これらのことを手掛かりに、京都の室町に幕府が置かれた頃、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。 ・写真や絵画などの資料で、金閣や銀閣などの建造物を比較したり、雪舟によって描かれた水墨画の複数が国宝に指定されていることやそれらを鑑賞してその独自性やよさを調べたりするなど、文化に関する情報を適切に読み取ったり、調べたことをまとめたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・（誰がつくった建造物か、誰が描いた絵画か、この頃の文化にはどのような特色があるか、今に受け継がれているものにはどのようなものがあるかなどの問いを設けて、）金閣や銀閣などの建造物や水墨画などの絵画や今に受け継がれる文化について調べ、これらの事象を関連付けたり総合したりして、この頃の文化の特色を考え、文章で記述したり説明したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の見通しをもって追究し、金閣や銀閣などの建造物や水墨画などの絵画や今に受け継がれる文化について調べ、この頃の文化の特色について、自分の考えをまとめようとしている。

2. 日本の歴史⑥ 戦国の世から天下統一へ

★実施時期:10月上旬

★指導時間数:6時間

【学習指導要領】

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
 (カ) キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを理解すること。
 (シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。
 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 (ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

【単元の目標】

・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を捉え、歴史の展開を考え、表現することを通して、戦国の世が統一されたことを理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。また、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。
 ・戦国の世が統一されたことに関心をもち、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
戦国の世から天下統一へ	<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教の伝来について、ザビエルによってキリスト教が伝えられ我が国に広がったことなどが分かる。 ・織田・豊臣の天下統一について、ポルトガル人によって日本に伝えられた鉄砲を多用するなどして織田信長が短い期間に領地を拡大したこと、豊臣秀吉が検地や刀狩などの政策を行ったことなどが分かる。 ・これらのことを手掛かりに、群雄割拠の状態から戦国の世が統一されたことを理解している。 ・キリスト教の伝来の様子を世界地図などの資料で調べたり、織田信長と豊臣秀吉の働きを比べたり結び付けたりして調べるなど、複数の人物の業績に関する情報を比べたり結び付けたりしながら読み取ったり、年表などに適切に整理してまとめたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(当時の世の中はどのような様子だったか、織田信長や豊臣秀吉らはどのようにして力を伸ばしたか、どのような政策を進めたかなどの問いを設けて、)ザビエルが日本にキリスト教を伝えたことや、織田信長が勢力を伸ばした様子、豊臣秀吉が検地や刀狩りなどの政策を進め天下を統一した様子について調べ、これらの事象を関連付けたり総合したりして、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、文章で記述したり説明したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の見通しをもって追究し、ザビエルが日本にキリスト教を伝えたことや、織田信長が勢力を伸ばした様子、豊臣秀吉が検地や刀狩りなどの政策を進め天下を統一した様子について調べ、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割について自分の考えをまとめようとしている。

2. 日本の歴史⑦ 江戸幕府と政治の安定

★実施時期:10月下旬

★指導時間数:6時間

【学習指導要領】

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
 (キ) 江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解すること。
 (シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。
 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 (ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

【単元の目標】

・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を捉え、歴史の展開を考え、表現することを通して、武士による政治が安定したことを理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。また、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。
 ・武士による政治が安定したことに関心をもち、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
江戸幕府と政治の安定	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の始まりについて、徳川家康が関ヶ原の戦いに勝利を収め、その後、江戸幕府を開いたことが分かる。 参勤交代や鎖国などの幕府の政策について、大名を親藩、譜代、外様の三つに分けて全国に配置したこと、徳川家光の頃に参勤交代が制度として確立したこと、キリスト教の信仰を禁止し、貿易を統制し渡航を禁止するなど海外との交流を制限する政策を進めたことなどが分かる。 身分制について、武士を中心とする身分制が定着したことなどが分かる。 これらのことを手掛かりに、江戸幕府が政治を行った頃、武士による政治が安定したことを理解している。 日本地図や世界地図などの資料で、大名の配置や参勤交代の経路、出島などを通して交易があった国の名称と位置など、歴史上の事象の位置や地域間のつながりなどを適切に読み取ったり、調べたことをまとめたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> (江戸幕府はどのように始まったか、幕府はどのように世の中を治めたかなどの問いを設けて、)関ヶ原の戦い、江戸幕府の大名配置、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、武士を中心とした身分制について調べ、これらの事象を関連付けたり総合したりして、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、文章で記述したり説明したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の見通しをもって追究し、関ヶ原の戦い、江戸幕府の大名配置、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、武士を中心とした身分制について調べ、江戸幕府の政策の意図や社会の様子について、自分の考えをまとめようとしている。

2. 日本の歴史⑧ 町人の文化と新しい学問

★実施時期:11月上旬

★指導時間数:5時間

【学習指導要領】

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
 (ク) 歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を手掛かりに、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解すること。
 (シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。
 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 (ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

【単元の目標】

・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を捉え、歴史の展開を考え、表現することを通して、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。また、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。
 ・町人の文化が栄え新しい学問がおこったことに興味をもち、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
町人の文化と新しい学問	<ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎や浮世絵について、近松門左衛門などによって生み出された歌舞伎の作品が数多く演じられ、それを人々が楽しんで鑑賞していたことや、歌川広重などによって描かれた作品が人々に親しまれたことなどが分かる。 ・国学や蘭学について、本居宣長が我が国の古典を研究し、国学の発展に重要な役割を果たしたこと、杉田玄白らがオランダ語の医学書を翻訳して『解体新書』を著したこと、伊能忠敬が全国を測量して精密な日本地図を作ったことなどが分かる。 ・これらのことを手掛かりに、江戸幕府が政治を行った頃、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解している。 ・歌舞伎や浮世絵の作品、『解体新書』や日本地図などの学問の成果など、当時の作品などの資料から文化や学問に関する情報を適切に読み取ったり、調べたことをまとめたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(歌舞伎や浮世絵はどのような人々に親しまれていたか、国学や蘭学はどのような学問だったのか、どのようにして作り上げたのかなどの問いを設けて、)歌舞伎や浮世絵が町人の間に広がったことや国学や蘭学がおこったことを調べ、これらの事象を関連付けたり総合したりして、この頃に栄えた町人の文化や新しい学問を生み出した人物の業績を考え、文章で記述したり説明したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の見通しをもって追究し、歌舞伎や浮世絵が町人の間に広がったことや国学や蘭学がおこったことを調べ、この頃に栄えた町人の文化や新しい学問を生み出した人物の業績について、自分の考えをまとめようとしている。

2. 日本の歴史⑨ 明治の国づくりを進めた人々

★実施時期:11月下旬

★指導時間数:7時間

【学習指導要領】

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
 (ケ) 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解すること。
 (シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。
 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 (ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

【単元の目標】

・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを捉え、歴史の展開を考え、表現することを通して、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。また、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。
 ・我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことに関心をもち、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
明治の国づくりを進めた人々	<ul style="list-style-type: none"> ・黒船の来航について、ペリーが率いる米国艦隊の来航をきっかけに我が国が開国したことや江戸幕府の政権返上に伴い勝海舟と西郷隆盛の話し合いにより江戸城の明け渡しが行われたことなどが分かる。 ・廃藩置県や四民平等などの改革について、西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允らの働きによって明治天皇を中心とした新政府がつくられたこと、明治天皇の名による五箇条の御誓文が發布され新政府の方針が示されたこと、明治政府が行った廃藩置県や四民平等などの諸改革によって近代国家としての政治や社会の新たな仕組みが整ったことなどが分かる。 ・文明開化について、福沢諭吉が欧米の思想を紹介するなど欧米の文化が広く取り入れられたことにより人々の生活が大きく変化したことが分かる。 ・これらのことを手掛かりに、幕末から明治の初めの頃、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。 ・写真、絵画、世界地図などの資料で、黒船の来航の様子や明治政府の諸改革、明治政府に関わる人物などの業績と主な出来事などの関係など、世の中の様子や人物の業績に関する情報を適切に読み取ったり、調べたことを年表や図表などに適切に整理してまとめたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(どのような背景から黒船が来航したか、黒船の来航を当時の人々はどうのように受け止めたか、開国によって人々の生活はどのように変わったか、新政府をつくるために誰がどのように活躍したかなどの問いを設けて、)当時の欧米諸国はアジア進出を進めたこと、黒船の来航後に近代化が進み欧米の文化が取り入れられたこと、明治政府は廃藩置県や四民平等など諸改革を行ったことについて調べ、これらの事象を関連付けたり総合したりして、この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化を考え、文章で記述したり説明したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の見通しをもって追究し、当時の欧米諸国はアジア進出を進めたこと、黒船の来航後に近代化が進み欧米の文化が取り入れられたこと、明治政府は廃藩置県や四民平等など諸改革を行ったことについて調べ、この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化について、自分の考えをまとめようとしている。

2. 日本の歴史⑩ 世界に歩み出した日本

★実施時期:12月

★指導時間数:6時間

【学習指導要領】

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
 (コ) 大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを手掛かりに、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解すること。
 (シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。
 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 (ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

【単元目標】

・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを捉え、歴史の展開を考え、表現することを通して、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。また、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。
 ・我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことに興味をもち、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界に歩み出した日本	<ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法の発布について、国会の開設に備えて板垣退助や大隈重信が政党をつくったこと、伊藤博文が憲法制定に重要な役割を果たしたこと、明治政府が発足後20年ほどで憲法を制定したことなどが分かる。 ・日清・日露の戦争について、日清戦争の講和条約の締結で陸奥宗光が大きな働きをしたこと、日露戦争において東郷平八郎が活躍したこと、講和条約の締結において小村寿太郎が大きな働きをしたこと、そして、我が国が厳しい国際社会の環境に置かれた状況において、これらの戦争に勝利を収め、講和条約を結ぶことによって、国の安全を確保することができたことなどが分かる。 ・条約改正について、幕末に欧米諸国との間で結ばれた不平等な条約を対等なものに改める交渉において、外務大臣であった陸奥宗光や小村寿太郎が大きな働きをし、条約改正に成功したことなどが分かる。 ・科学の発展について、野口英世が黄熱病について世界的に注目された研究を行ったことなどが分かる。 ・これらのことを手掛かりに、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解している。 ・写真や絵画、世界地図などの資料で、明治政府に関わる人物の業績や当時の人々の生活の様子、当時の国際関係など、世の中の様子や人物の業績などに関する情報を適切に読み取ったり、調べたことを年表や図表などに適切に整理してまとめたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(どのようにして国力を充実させたか、どのような人物が活躍したかなど)の問いを設けて、)自由民権運動の進展、大日本帝国憲法の発布や帝国議会の開設、日清・日露の戦争や不平等な条約の改正の経過、科学の分野で優れた業績を上げた人物について調べ、これらの事象を関連付けたり総合したりして、明治政府の意図や世の中の様子の变化を考え、文章で記述したり説明したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の見通しをもって追究し、自由民権運動の進展、大日本帝国憲法の発布や帝国議会の開設、日清・日露の戦争や不平等な条約の改正の経過、科学の分野で優れた業績を上げた人物について調べ、明治政府の意図や世の中の様子の変化について、自分の考えをまとめようとしている。

2. 日本の歴史⑪ 長く続いた戦争と人々の暮らし 新しい日本、平和な日本へ

★実施時期：1月～2月上旬

★指導時間数：14時間

【学習指導要領】

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
 (イ) 日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解すること。
 (ロ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。
 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 (ア) 世の中の様子、人物の動きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

【単元の目標】

・世の中の様子や代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを捉え、歴史の展開を考え、表現することを通して、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解するとともに、優れた文化遺産を理解すること。また、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。
 ・戦後我が国は民主的な国家として国際社会で重要な役割を果たしてきたことに興味をもち、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
長く続いた戦争と人々の暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦について、我が国と中国との戦いが全面化したことや、我が国が戦時体制に移行したこと、我が国がアジア・太平洋地域において連合国と戦って敗れたこと、国内各地への空襲、沖縄戦、広島・長崎への原子爆弾の投下など、国民が大きな被害を受けたことが分かる。 ・当時の国民生活の様子を知る人への聞き取り調査で必要な情報を集めたり、世界地図や写真、年表などの資料で、戦争の広がりなど事象の広がりや経過などを適切に読み取ったり、調べたことを年表や図表などに適切に整理してまとめたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(戦争はどのように広がったか、人々の暮らしはどのように変わったか、世界との関わりはどのように変わったかなどの問いを設けて、)日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦の広がりの様子、戦争の長期化や戦線の拡大に伴う国民生活への影響、各地への空襲、沖縄戦、広島・長崎への原子爆弾の投下などにより国民が受けた大きな被害などについて調べ、これらの事象を関連付けたり総合したりして、我が国の政治や国民生活が大きく変わったことを考え、文章で記述したり説明したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の見通しをもって追究し、日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦の広がりの様子、戦争の長期化や戦線の拡大に伴う国民生活への影響、各地への空襲、沖縄戦、広島・長崎への原子爆弾の投下などにより国民が受けた大きな被害などについて調べ、我が国の政治や国民生活が大きく変わったことについて、自分の考えをまとめようとしている。
新しい日本、平和な日本へ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の制定について、戦後、平和で民主的な憲法が制定され、我が国が民主的な国家として出発したことが分かる。 ・オリンピック・パラリンピックの開催について、我が国が国際社会に復帰し、工業が発展し電化製品が普及したことなどにより国民生活が向上したこと、スポーツの祭典としてアジアで初めて東京でオリンピック大会が開催され、その後も我が国でオリンピック・パラリンピックの大会が開催されたこと、そうした中で我が国は国際社会において重要な役割を果たしてきたことが分かる。 ・これらのことを手掛かりに、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。 ・当時の国民生活の様子を知る人への聞き取り調査で必要な情報を集めたり、世界地図や写真、年表などの資料で、事象の広がりや経過などを適切に読み取ったり、調べたことを年表や図表などに適切に整理してまとめたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(人々の暮らしはどのように変わったか、世界との関わりはどのように変わったかなどの問いを設けて、)日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などについて調べ、我が国の政治や国民生活が大きく変わったことや、我が国が国際社会において果たしてきた役割を考え、文章で記述したり説明したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の見通しをもって追究し、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などについて調べ、我が国の政治や国民生活が大きく変わったことや、我が国が国際社会において果たしてきた役割について、自分の考えをまとめようとしている。

3. 世界の中の日本

★実施時期:2月中旬～3月

★指導時間数:14時間

【学習指導要領】

(3) グローバル化する世界と日本の役割について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活は、多様であることを理解するとともに、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解すること。

(イ) 我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解すること。

(ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現すること。

(イ) 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現すること。

【単元の目標】

・外国の人々の生活の様子などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめ、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現することを通して、我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活は多様であることを理解するとともに、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解すること。

・地球規模で発生している課題や世界の国々が抱えている課題、それらの解決に向けた連携・協力などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめ、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現することを通して、我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解すること。

・国際交流の果たす役割や、国際社会において我が国が果たしている役割について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うとともに、世界の人々と共に生きていくために大切なことや、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本とつながりが深い国々	<p>・外国の文化や習慣を背景とした人々の生活の様子には違いがあること、その違いがその国の文化や習慣を特徴付けていることなどを基に、世界の人々の生活は多様であることについて理解している。</p> <p>・オリンピック・パラリンピックをはじめとした国際的なスポーツ交流、様々な文化を通じた国際交流が行われていることなどを基に、異なる文化や習慣を尊重し合うことの大切さについて理解している。</p> <p>・地図帳や地球儀を用いて、取り上げる国や地域の名称と位置、日本との位置関係などを適切に読み取ったり、学校図書館や公共図書館、コンピュータなどの活用、留学生や地域に住む外国人への聞き取り調査などにより、外国の人々の生活の様子を調べたり、調べたことを適切にまとめたりすることができる。</p>	<p>・(外国の人々の生活の様子などに着目して、)世界の国々の文化や習慣は多様であることとスポーツや文化などを通して他国と交流することを関連付けて、異なる文化を相互に理解するために果たしている国際交流の役割を考え、レポートなどにまとめたり、根拠や理由を明確にして議論したりしている。</p>	<p>・問題解決の見通しをもって追究し、国際交流の果たす役割について、自分の考えをまとめようとしている。</p>

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の未来と日本の役割	<p>・国際連合は、平和な国際社会の実現のための大きな役割を果たしていること、我が国は、国際連合の一員としてユニセフやユネスコの活動に協力していることなど、平和な国際社会の実現のために大きな役割を果たしていることや、我が国が教育や医学、農業などの分野で諸外国の発展に貢献していること、今後も国際社会の平和と発展のために果たさなければならない責任と義務があることなどを基に、グローバル化する国際社会における我が国の役割について理解している。</p> <p>・地図帳や地球儀を用いて、国や地域の位置などを適切に読み取ったり、学校図書館や公共図書館、コンピュータなどの活用、国際交流活動や国際協力活動に参加した人などへの聞き取り調査などにより、グローバル化する世界と日本の役割について調べたり、調べたことを適切にまとめたりすることができる。</p>	<p>・(地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、)地球規模で発生している課題の解決策と我が国の国際協力の様子を関連付けて、我が国が国際社会において果たしている役割を考え、文章で記述したり、根拠や理由を明確にして議論したりしている。</p> <p>・(世界の国の人々の生活、国際連合や我が国の国際協力について学習したことを基に、)グローバル化する国際社会において、今後、我が国が果たすべき役割、義務や責任について、過去の戦争や原爆による人類最初の災禍を経験した我が国の立場、国際的な協力や援助を必要としている国や地域の人々などの立場、国際連合など国際的な機関の立場などから多角的に考えたり、世界の人々と共に生きていくために大切なことについて、自分たちができることを考えたり選択・判断したりしている。</p>	<p>・問題解決の見通しをもって追究し、国際社会において我が国が果たしている役割について、自分の考えをまとめようとしている。</p> <p>・多角的な思考や理解を通して、世界の人々と共に生きていくために大切なことや、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などについて、自分の考えをまとめようとしている。</p>